**千草竹原集落の引継書**

**◎千草竹原で暮らす人、働く人**

ヒアリング

2024年10月19日小林さん、2024年10月20日に水田さん、太田さん、2024年11月6日谷口さん

ヒアリングを行った地域住民の中で、長年千草竹原に住み、関わりを持っている人は水田進さん、太田明広さんです。また、移住者として地域に入り、千草竹原と関わりを持つ人が小林力さん、谷口史朗さんです。

※居住歴は2024年時点

・水田進（みずたすすむ）さん

|  |  |
| --- | --- |
| 居住地 | 千草竹原 |
| 経歴 | 1949年　千草竹原で生まれました。1974年頃　25歳の結婚を機に市街地へ移住しました。子供が結婚する際に千草竹原に戻って来られました。2007年　過疎化で生まれ故郷がなくなるのではという危機感から、紫陽花（あじさい）園である「あわじ花山水」を開きました。 |
| 千草竹原での取り組み | ・会社員と並行して40年間、「あわじ山水園」というしいたけ農園で副業として椎茸を出荷していました。・あわじ花山水を運営しています。 |
| 「あわじ花山水」について | ・「あわじ花山水」のネーミングの由来について花と山と水しかないことから自然と付いた「花山水」という言葉の前に、検索ですぐに見つかるように、「あ」からはじまる「あわじ」を付けました。（参考：『千草竹原2022』p.23）あわじ花山水の情報について、詳しくはこちら！https://awajihanasansui.com/ |
| 将来像 | ・自然破壊せずに、緑や原風景を残したまま集落を継続していきたいです。・一軒程度でいいから、新しい移住者が増えてほしいです。・千草竹原までの道路が狭く、車の行き違いが困難なため、道路を改修し、待避所（注１：狭隘道路で車両同士が行き違い（離合）を行うための空間）を作りたいです。森の中の道を歩く人々千草竹原集落の道路（2024年10月19日撮影）　 |

・太田明広（おおたあきひろ）さん

|  |  |
| --- | --- |
| 居住地 | 千草竹原 |
| 経歴 | 居住歴　42年1982年に結婚し婿養子として千草竹原に移住しました。50歳のときに建設会社を早期退職しました。自身の両親が農業をするのが難しくなったので、それを引き継ぐ形で進めていきました。 |
| 千草竹原での取り組み | ・しきみ（注２：葬儀や法事の時に供えられる植物で、線香で使う抹香や線香の原材料としても使われる）の出荷を行っています。※しきみについての説明は「千草竹原のおてつだいカレンダー」からの引用・祖父から引き継いだ畜産（牛）の繫殖・育成を営んでいます。・2024年時点では繫殖牛を6頭、子牛を3頭飼育しています。 |
| 将来像 | ・交流人口から関係人口が増えてほしいです。・若い力が増えてほしいです。・移住希望者がより移住しやすくなるようなサポートがさらに手厚くなってほしいです。 |
| 資格 | 建築業資格全般 |

・小林力（こばやしりき）さん

|  |  |
| --- | --- |
| 居住地 | 千草竹原 |
| 洲本市に移住したきっかけ | 東京で働き、子どもが生まれたのをきっかけに移住を考えました。当時、奥さんの実家に近く、二度訪ねた経験のあった淡路島において、洲本市地域おこし協力隊員の応募があったことをきっかけに、洲本市に移住されました。 |
| 経歴 | 洲本市居住歴　3年（2021年　移住）1991年　新潟県に生まれました。大学卒業後、東京でシステムエンジニアとして働く2021年4月　「洲本市地域おこし協力隊」として洲本市に移住しました。　2024年3月　「洲本市地域おこし協力隊」卒隊しました。2024年3月　千草竹原に居住しました。 |
| 千草竹原での取り組み | ・集会所と宿泊施設をつくるため、空き家のリノベーションを行っています。・地域活性化を進めていく上の伝達手段の開発（グーグルマップの拡大などIT事業の拡大等）を行っています。 |
| 最近始めたこと | ・移住イベントなど・千草竹原集落のホームページの改善 |
| これから始めたいこと | ・2025年、空き家をリノベーションした宿泊施設（民泊）が新しくできるので、旅行業の資格を活かして、旅行業としてのパッケージ作成、販売をしたいと考えています。・学生の考えたプランやツアーなどを試す場にしたいです。 |
| 将来像 | 地域としては大学としての実践教育の場、個人としいてはそのためのスキルを提供し続けられる存在でありたいと考えています。 |
| 資格 | 応用情報処理技術士国家資格第二種電気工事士防災士（民間資格）ユンボの運転免許フォークリフトの免許 |

・谷口史朗（たにぐちふみお）さん

|  |  |
| --- | --- |
| 居住地 | 洲本市・大森谷 |
| 経歴 | 洲本市居住歴　5年（2019年　移住）1993年　京都府で生まれました。2013年8月～9月　学部2回生のとき、洲本市域学連携事業で1ヶ月のフィールド合宿に参加しました。2016年　龍谷大学政策学部を卒業しました。（龍谷大学政策学部深尾ゼミ卒業生）大学卒業後、3年間大阪のパッケージ会社で営業として働きました。2019年６月　「洲本市地域おこし協力隊」に着任しました。2020年　１年ほど水田さんのもとで椎茸の手伝いをしながら、椎茸栽培について学びました。2021年　椎茸農園をプレオープンし、椎茸狩りを再開しました。（水田さんが2017年までやっていたものを継ぎました。）2022年　「洲本市地域おこし協力隊」卒隊しました。 |
| 千草竹原での取り組み | ・「竹原原木椎茸」という椎茸農園の運営を行っています。・レタス栽培を行っています。（詳しくは「最近始めたこと」で書いています。） |
| 最近始めたこと | ・お出汁のクラウドファンディング（商品開発まで進み、販売までできる状態が整っています。）お出しのクラウドファンディングの詳細についてはこちら！（【お出汁ではじめる小さな健康習慣】 うま味を楽しむ出汁茶「山海里茶」を販売開始！https://www.makuake.com/project/soso/) ※しかし、現在は手が足りておらず中止している状態、今後は時間があれば通年売れる商品として販売していきたいと考えています。・千草竹原でのレタス栽培以前、大森谷での栽培で使用していたレタスの種が余っていたため、千草竹原にある太田さんの田んぼを借り、2024年8月末から栽培を始めました。育てたレタスは農協に出荷しています。（ 椎茸とレタスは忙しい時期が被っているため来年は栽培を続けるか未定 ） |
| これから始めたいこと | ・千草竹原にコンポスト（注３：家庭から出る生ゴミや落ち葉などの有機物を微生物の働きを活用して発酵・分解させ堆肥に変えるための容器や施設、またはそのプロセス）を作りたいです。・集落内の窒素分を堆肥化してそれで何かを作りたいです。具体的には洲本は家庭農園している人が多いため堆肥として販売してみたいです。・原木の確保が難しいため奥の方を開墾してクヌギ林にしたいです 。 |
| 将来像 | 水田さんから承継した原木しいたけ栽培を規模拡大し、原木を１万本弱まで増やしたいです。集落全体で動かせる事業にできたらと考えています。 |
| 資格 | 免許（中型免許）ユンボの運転免許ショベルカーの運転免許　フォークリフトの運転免許 |